

ならばい・たより



1月からの活動を時系列で記載していきます。

1) 1月25(土) お茶の剪定、他

お茶の剪定、田んぼ、トトキ池の浚渫、落ち葉集め(精舎学園参加)、玉切材の運搬、まき作り



写真熊沢

2) 1月29(水) 薪作り、他

薪作り、お茶の剪定、ホダ場の整備、花暦、クヌギの剪定





3) 2月1(土) 切枝の粉碎、他

玉切、切り枝の粉碎、お茶の剪定、温床調査、池の浚渫



月面の「X」

4) 2月5(水) 温床作り、他

温床準備、玉切、栗の木の剪定、植物保護、育苗畑の耕起、チップの散布、落ち葉集め



5) 2月8(土) 枝木粉碎、他

剪定枝、他の粉碎、玉切・運搬、池の浚渫、ホダ場の草刈り、畑の耕うん



6) 2月12(水) ススキ運搬、他

ススキの引取り運搬、炭窯閉塞、まき割り、耕うん、ガイドウオーク打ち合わせ



野津田公園に刈り取ってあるススキを引取り、炭小屋に運搬(軽トラ4台分)

7) 2月15(土) 屋根葺き準備、他

屋根材(ススキ)の整備、池の浚渫、水路整備、椎茸原木加工、小麦の追肥、こんにゃく作り



2019年度 結の里 稲作 精米の寄贈・配布・販売等の報告 2020/2/15 穴水

精米収穫量 奈良ばい谷戸 371 ㌔ 東谷戸 329.5 ㌔ 合計 700.5 ㌔

小学校などへの寄贈

小山田小学校 40 ㌔ 忠生小学校 20 ㌔ 精舎児童学園 10 ㌔ 合計 70 ㌔

慶應義塾幼稚舎 稲づくり体験 102 ㌔ 5 ㌔×34名 5000円×34名=170000円 体験料

ハザカケ借用谷合さんへお礼	5 千円	
餅つき	180 千円	
忠生第三小学校へ販売	15 千円	450 円×15 千円=6750 円
会員へ販売	162 千円	3 千円×54 口 500 円×54 口=27000 円
会員へ配布	147 千円	3 千円×49 人
合計	681 千円	
不明分	19.5 千円	計量際の誤りかも

8) 2月19(水) 屋根葺き準備、他

屋根材(ススキ)の整備、屋根材(真竹)の切り出し、花暦

炭小屋に積んであるススキの裾を揃えて束ねる。

屋根材(真竹)の切り出し(30本程)、ホダ場の奥より屋根材に使用する真竹の切り出し、枝を払って定尺で切断、枝及び切断した残材はシュレッダーで粉碎処理



9) 2月22(土) 炭焼き、他

炭焼き(炭出し、炭材入れ、火入れ)、ススキ刈り取り(屋根材)、ススキ(屋根材)整理

見晴台及び畑のススキの刈り取り、束ねて炭小屋へ運搬

炭焼き(炭出し、炭材入れ、火入れ)

- ・2/10に火入れした竹炭を窯から出す(ランク分け選別→計量→箱詰め)
- ・木炭の炭材を窯の中に並べて入れる
(ソダ敷き均し→うしろ立て設置→炭材並べ→間詰め、ナグリ、ソダ→前たて設置・・・窯詰め完了)
- ・火入れ開始(監視)

竹炭取り出し量

A ランク	69.0 k g
B ランク	31.0 k g
C ランク	28.5 k g
合計	128.5 k g



アオジ

10) 2月26(水) 展示準備、他
小野路宿、里山交流館展示準備、竹炭加工、袋詰め、パンフ作成
粃摺り、早苗饗用のもち米の粃摺り



エナガ

11) 2月29(土) 駒打ち、他
椎茸の駒打ち、ジャガイモ植え付け準備、玉切、穴狩り、刈り草移動、焼却
椎茸の駒打ち ドリルによる穴あけ→種駒打ち(1500駒)
ジャガイモ植え付け準備 耕うん

玉切 伐採木の玉切、炭小屋まで運搬集積
 穴狩り 田んぼ、南側水路付近の斜面



1 2) 2月28(木) 2月の花だより 櫻井 文夫



ヤブツバキ



ユキワリソウ



セツブンソウ



フクジュソウ



マンサク



アセビ



カンザキアヤメ



ネコヤナギ

1 3) 3月4(水) 雨の作業

古代米のゴミの選別、小野路宿、里山交流館展示準備 (3/7 展示予定)



カタクリまだ花芽もない

アオイスマイレ

14) 3月7(土) 里山交流館展示、他

小野路里山交流館展示、穴狩り及び白樫伐採、玉切移動及び古木処理、枯草の集積、焼却、トトキ草刈り、ジャガイモ畑畝作り、仮伏せホダ木の追加養生、水棲動物観察会の延期、川崎のボーイスカウト打ち合わせ (14:00~)

小野路里山交流館展示 開催期間 3/8~3/31迄

穴狩り及び白樫伐採 (田んぼ下流、小田急エリア)

- ・斜面の笹刈、田んぼの日陰になる白樫の伐採 玉切移動及び古木処理
- 犬桜奥の玉切木を炭小屋に移動、炭焼き小屋に有る古木を処分
- 枯草の集積、焼却、枯草の焼却、焼却後は穴を掘り埋める
- 犬桜奥雑木林斜面のツル切、椎茸仮伏せホダ木の散水

トトキ谷戸斜面の草刈り

ジャガイモ畑畝作り、機械耕うんしたジャガイモ畑を人力畝作り

仮伏せホダ木の追加養生、仮伏せしてある椎茸のホダ木にススキを被せ追加養生する



写真 熊沢





ヒキガエルが出てきた。



35年から40年もの

15) 3月11(水) 炭小屋補修、他

炭小屋 屋根補修 小屋前広場で、竹で組んだ屋根の骨組みにススキを並べ、針金で結束、
針金で竹とススキを結束 茅葺屋根を作成

出来上がったススキの屋根枠を増員(散策中の人にもお手伝いいただき)した人数で炭小屋屋根に持ち
上げ、取り付け

ジャガイモ 種芋植え付け

犬桜休憩所横 ダンシャク 15kg、メークイン 13kg、→10畝

ねむの木広場横 アンデスレッド≒5kg →3畝

花暦





1 6) 3月14(土) 古代米の整理 雨

古代米の整理(仕分け)、大麦の粃摺り

クラブハウス

古代米の整理(仕分け)、粃摺り後の古代米から粃が取れていないもの、ごみ等を取り除く
物置小屋

大麦の粃摺り、脱穀後の大麦を粃摺り機にかける



1 7) 3月18(水) 炭小屋 屋根補修、他

炭小屋 屋根修復(屋根の葺き替え)、ホダ場養生、小野路里山交流館展示物の管理(～3/31迄展示)、
古代米配付説明、大麦精米(玄米まで)説明

表側の屋根にハシゴを架け、組上がっている裏側の屋根材(茅葺屋根)をみんなで持ち上げ、屋根上で
引き揚げ、屋根上のボルトに針金で固定次に表側の仮固定してある屋根材を更に引き上げ位置を修正し
ボルトに固定。

横に張り出している竹材を揃えて切断、屋根の天端に化粧として竹を3本束ねて設置、表側の屋根の軒
に杭を3本建て支える

ホダ場養生

屋根の葺き替えで余ったススキをホダ場地面に敷く（地面の湿度を保つ為）仮伏せホダ木に散水養生



18) 3月21(土) 白樫伐採、他

白樫伐採、苗代耕起、水路整備、葦原刈り、玉切材（白樫）運搬、里山交流館 展示管理
新会員 岸本さん初参加

白樫伐採 田んぼ下流の小田急斜面の白樫（1本二股）を伐採、枝払い、粉碎（粉碎機）

苗代耕起、水路整備 苗代2面を耕す（耕運機）

葦原刈り 田んぼ上流の葦原刈り（刈払機）

玉切材（白樫）運搬 既伐採した白樫の玉切材を炭小屋に運搬（運搬機）

サツマイモの苗植え用の温床整備 仮伏せ椎茸の散水

立ち入り防護バー設置（ホダ場入口、犬桜下）





19) 3月25(水) 玉切材運搬、他

白樫の玉切、片付け、小枝の粉碎、片付け、カボチャ畑の準備、里山交流館 展示管理 (～31 日迄展示)、
ホダ木 (仮伏せ) の散水

理事会 13:30～ (大龍会館にて)

伐採した白樫の残りの玉切、運搬車に積んで運搬、炭小屋に集積、小枝の粉碎、片付け、白樫の小枝及び
篠竹の粉碎、玉切材を炭小屋に運搬、集積



20) 3月28(土) アシの焼却、他

アシの焼却、ソバ畑の準備、シラカシの薪割り、展示物の片付け



2 1) 4月1(水) 雨



2 2) 4月4(土) 種籾選別、他

種籾選別・浸種、田起し、ネギの植え付け、炭小屋補修、橋(畔)修理、穴刈り、パネル返着(田極理事長宅)、理事打ち合わせ(昼時 ねむの木休憩所にて)

種籾選別・浸種

お湯を沸かし種籾を浸し消毒と選別(浮いた空種を取り除く)、その後浸種
田起し

耕運機2台、下側の2枚から

ネギの植え付け(犬桜エリア) ≒600本植え付け

炭小屋補修

北側屋根の下裾を切り揃え、竹のトヨを設置して水路を作成



2 3) 4月8(水) 田起し、他

田起し(堆肥散布)、ジャガイモ植え付け、花暦、ホダ場整備、藁ボッチ解体、倒木処理、ジャガイモの防虫処理 東京新聞社の取材・撮影 2名

田起し(奈良ばい谷戸・堆肥散布) 耕運機、堆肥(堆肥所)を田起し前の田んぼに散布し、その後田起し開始

ジャガイモ植え付け アンデスレッド少々植え付け(犬桜エリア)

ホダ場整備 仮伏せ椎茸に散水、ホダ木の間にチップ材敷き均し

倒木処理 ホダ場奥のコナラの倒木解体

そば畑耕うん(犬桜エリア)

藁ボッチ解体 解体した藁は藁切機で切断し堆肥所へ運搬

ジャガイモの防虫処理 発芽したジャガイモに希釈した竹酢液(希釈≒500倍)を噴霧器にて散布

真竹の支柱作り(30本*2.5m) 真竹の刈り取り加工



24) 4月11(土) 苗代作り、他

苗代作り・準備、藁ボッチ解体・藁切、倒木処理、ツルニンジン支柱建て、橋掛け

苗代作り

耕うん→畝作り(上及下の段:32m) パオパオ準備(昨年使用の物から選別)

藁ボッチ解体・藁切

藁ボッチを解体し藁を切断機で藁切して堆肥所に堆積

倒木処理

ホダ場奥のコナラの倒木を玉切処理

ツルニンジン支柱建て

ツルニンジンに真竹の支柱を建てる

継続: 藁ボッチ解体・藁切

橋掛け

伐採した白樫と足場板で畔に橋掛け



25) 4月15(水) 稲種まき

稲の種まき (36m²・300g/m²)

稲の種まき (満月 38.0m² 240g/m²) (古代米 2.0m²)

・畝均し、溝堀

→区画割り (1.0m² 毎) 篠竹で区分

→種まき (240g/m²) 秤で240g毎に計量、素手で均等に蒔く

→土被せ (厚さ t=1.0cm平均) フルイに土を入れ均等に被せる

→転圧 (板で軽く土を押える)

→パオパオの準備 (割竹のアーチを片方刺し込む、布シート)

→燐炭敷き均し (厚さ t=1.0cm平均)

→パオパオで覆い外周を土被せて固定

苗代種まき終了

満月 上の段 21.0m²

下の段 17.0m²

計 38.0m²

古代米 上の段 2.0m²

計 2.0m²



イカリソウ

タマノカンアオイ

フデリンドウ



26) 4月18(土) 激しい雨が降り続

27) 4月22(水) 田起し、他

田起し(機械・人力)、草刈り、土嚢作り、花暦、ジャガイモ防虫、移植木管理

田起し(機械・人力)

比較的硬い田んぼは耕運機使用、柔らかい田んぼは人力で田起し

草刈り 畦の草刈り(刈払機)

土嚢作り 水路に積む土嚢作り、運搬(≒20袋)

花暦

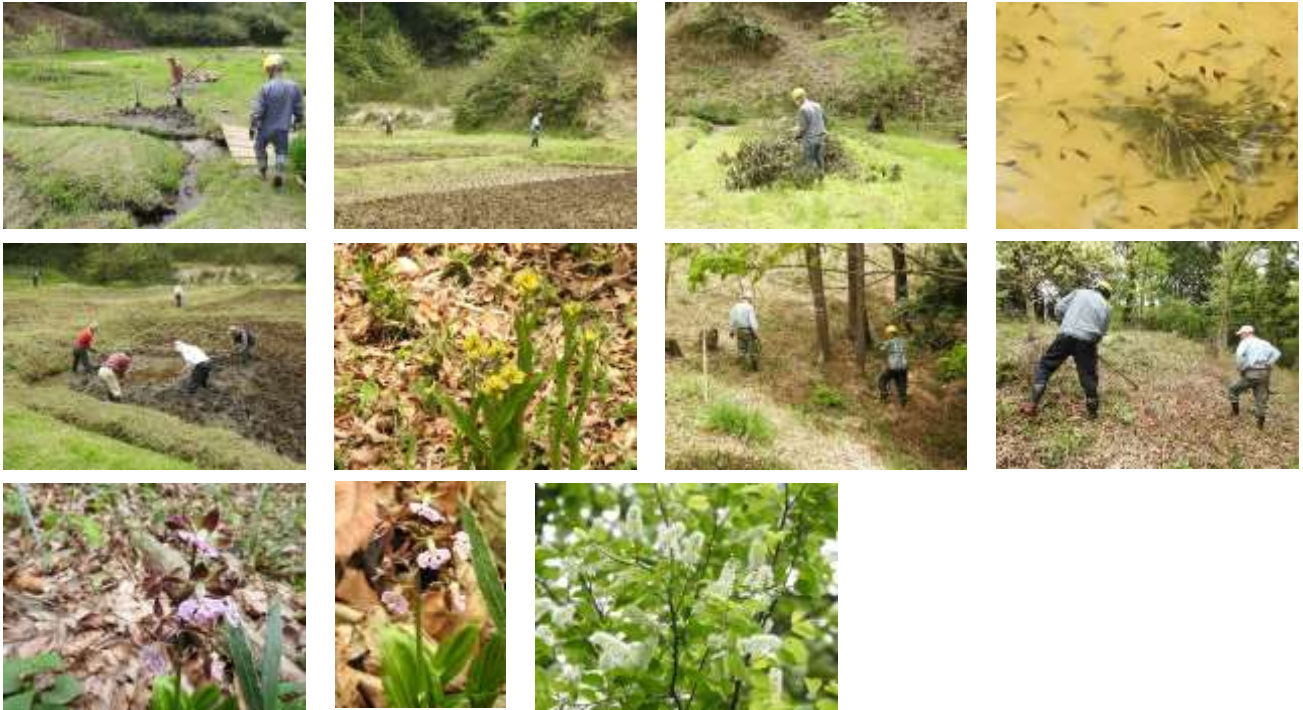
移植木管理 萌芽更新林に移植したコナラ幼木の回りの草刈り(≒40カ所)

ジャガイモ防虫 ジャガイモの葉に竹酢液を散布

温床(第三梅林)管理 ビニールに溜まった雨水の排水、波板を被せる

橋掛け 田んぼ下側の水路に橋を設置





アカエビネ

ウワミズザクラ

28) 4月25(土) 水路整備・他

水路整備、田んぼのクロ切り、水口整備、穴刈り、蕎麦の播種、ジャガイモ防虫、ジャガイモ間引き、里芋畑耕うん

水路整備 水路の田んぼ取水口に堰を作る

田んぼのクロ切り クロ切り (N-1)、クロ切り (N-2)

蕎麦の播種 (炭小屋手前斜面) 草刈り→畝作り→種まき (3段)

ジャガイモ防虫 (竹酢液散布・・・効果あり) ジャガイモ間引き ジャガイモ土寄せ

草刈り (第三梅林)





イヌザクラ



シュンラン



エビネ



29) 5月2(土) タケノコ堀

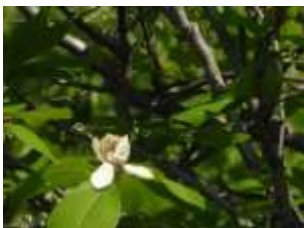
タケノコ堀 約 20 kg 木炭、竹炭、葛炭、竹酢液 等のサンプルを炭小屋より運び出し



クルミの花



サルトリイバラ



ホウ



ムラサキサギゴケ



キンラン



フジ



フデリンドウ



オカタツナミソウ

30) 5月6(水) COVID19の影響で作業中止

31) 5月9(土) 田の畔付け、他

田の畔付け、カボチャの苗の植え付け、耕うん（里芋畑）、体験入会 1 名
田起し（耕運機） 水口作り、水入れ、畔ハギ、畔付け、畔の穴埋め
・畔が細くなっているため畔付けを厚く盛る 代掻き（耕運機）

里芋畑の耕うん カボチャの苗の植え付け 3 畝 パオパオを被せて養生する
 ジャガイモ土寄せ ジャガイモの葉虫取り（少し虫がつき始める）



ニセアカシア



サイハイラン



レンリソウ



コムギ



3 2) 5 月 13 (水) 里芋植付け、他

田の畔付け、苗代（パオパオ撤去、草取り）、里芋植付け、花暦、ジャガイモ畑の防虫

田の畔付け、下流側の田より開始（畔の穴うめ、ザリガニ等の穴）・畔が細くなっているため畔付けを厚く盛る

苗代（パオパオ撤去、草取り） 苗代を覆ってあったパオパオを撤去し雑草を取った

里芋植付け 室から種芋の掘り出し、選別（里芋、八つ頭） 畑の畝作り

植え付け： 八つ頭→30 個×3 畝=90 個 里芋 →60 個×10 畝=600 個 肥料 →土かけ

ジャガイモ畑の防虫 竹酢液 手動散布機にて（希釈率 40 倍）・・・防虫効果が出ています

花暦



コメツブツメクサ?



キショウブ



サイハイラン



ササバギンラン



3 3) 5 月 16 (土) 畔付け

畔付け 参加者 5 名

一日雨、昼頃から雨が強くなり解散。

3 4) 5 月 17 (日) 東京新聞社の取材結果



以上

田嶋